



廿日市市立佐伯中学校 令和3年度

## 【自律】学校だより

ホームページ <http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/>

学校教育目標：「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」「みんなの笑顔があふれる居心地のいい」学校づくり！

7月号 (No.4)  
令和3年  
7月1日 (木)

### 学校暮会「死児を抱いて」水戸サツエ

6月と7月の学校暮会は、「いのちの大切さを考える日」に関連して、「いのち」をテーマにして放送による暮会を行いました。作者の水戸サツエさんは、広島県出身の方で、長年、宮崎県の幸島のサルを研究してきた方です。ずい分前の話になりますが、たまたま公民館にあった小冊子を読み、興味を持ち、繰り返し生徒に話をしてきた内容です。

「ミイラになっているのにどうして、ウツボは2ヶ月も赤ん坊を抱いていたのでしょうか。」という問いに対して、多くの生徒が、しっかりと自分の気持ちを綴ってくれていて、とても嬉しかったです。

どの感想も、心に響くものばかりで、頭で分かるというよりも、心で感じ取っている感想が沢山あったと思います。その中のいくつかを紹介します。

- 死んでいても自分の子だから離したくなかったから。離してしまうと、赤ん坊を一人ぼっちにしまって、かわいそうだから。(1年)
- たとえ死んでしまっても、自分が産んだ大切な子供だから。置いていくことは、絶対にしたくないという気持ちでいっぱいだったから。僕は、自分の子供を大切に抱えているというところに感動し、死んでいるのに生きてるように接するウツボの態度に、とても切なさを感じました。(1年)
- 大切な存在で守ってあげたいという思いと、手から離したくないと思っているから、ミイラになってもずっと抱いていたんだと思いました。どこへ行く時も、一緒にいたいという思いが分かりました。ずっと側にいたいと思っていたんだと思いました。(1年)

- 赤ん坊が死んだことは分かっていたけれど、ウツボは赤ん坊が死んだことを受け入れたくなかったからだと思います。(2年)
- ウツボは自分の赤ん坊が死んでミイラになっていることを信じられずに、毛づくろいとかして、生きてると信じようと思ったからだと思います。死んだことを認めず、最後の最後まであきらめずに、一緒にいたいと思ったから、2ヶ月も抱いていたんだと思います。(2年)
- 自分が産んだ子だから、ミイラになっても生きている子と同じく愛情を与え続けようと思ったから。(2年)
- 赤ん坊は死んでしまったが、自分の心の中で生き続けていると信じて抱き続けていたと思います。(2年)

- 僕は今まで身内がなくなったという経験がありません。ましてや、自分の子供がいるわけでもないし、自分がかわいがるような弟や妹もいません。だから、家族が亡くなったり、この話のように自分の子が亡くなったりするという感覚はあまり分かりませんが、とても悲しくなるというのは分かります。僕がこのウツボの立場だったら、絶対現実から逃げ出したいと思うので、ウツボはすごいと思います。(3年)
- めっちゃ子供のことが大好きだったんだと思います。これは、動物とか人間に限らず、親はみんなそうだと思います。僕はお母さんに迷惑ばかりかけているけれど、もっと行動とか考えなければいけません。今は迷惑をかけているけど、いつか恩返しができればと思います。(3年)
- おなかを痛めて産んだわが子を、すぐ死んだからといって捨てたくなかったのではないだろうか。死んだことは仕方がないことだと分かっているけど、子との別れは絶対に辛い。決心するのに、子が子の形でなくなるくらいの時間が、ウツボには必要だったのだと思う。(3年)

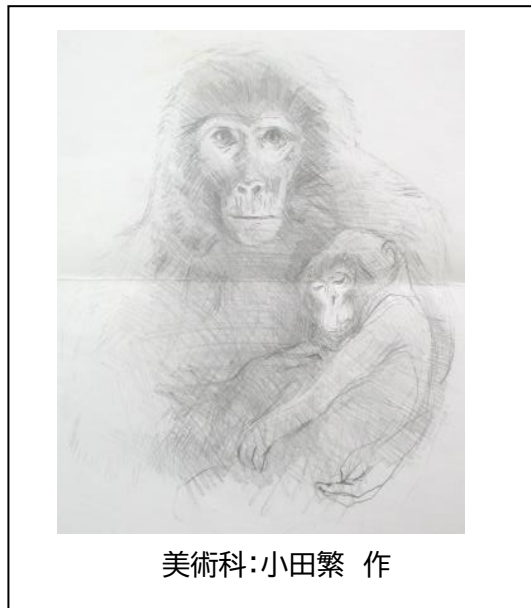
※カラー版は、佐伯中のホームページでご覧いただけます。

めっきり年をとったウツボ。死んだ我が子を2ヶ月あまりも肌身離さず持ち歩く姿は、ウツボにしか分からない子への深い愛情といつくしみが感じられます。死んだものの、ウツボはあたかも自分の一部のように感じ、そして、目の前にある我が子の死を認めようとしません。事実は「死」なのに、その歴然とした事実さえ否定してしまう、断ちきっても切れない母親と子供の繋がりやの強さをひしひしと感じます。それだけ母親は自分の子への「愛情やいつくしみ」は深いものなのです。

人は、身近な人が亡くなったら、今日は通夜、今日はお葬式、今日は初七日、今日は49日と、定まった習わしで、亡くなった方へ分かれを告げていきます。しかし、ウツボは、サルです。ウツボは、習わしなど知りません。ウツボの取った行動は、本来母親として、身に付いている「本能」なのです。それは、人間も同じです。

母親から伝えられたかけがえのない命、その命は、サルであろうが、人であろうが変わりはありません。生命に軽重はないのです。それだけの重みを帯びた、「命の尊さ」を、ウツボの生活から感じ取って欲しかったのです。与えられた「かけがえのない命」を精一杯生きていくことが、産み育てた両親や家族にとって、一番の恩返しであることを忘れないでほしいと思います。

みなさんも、いつかは父親になり、母親になるときがあると、思います。その時、今回の「死児を抱いて」のことを思い出してもらえたらうれしいです。



美術科:小田繁 作

## 「第70回春季総合体育大会」

延期になった「第70回春季総合体育大会」が6月12日(土)、19日(土)、20日(日)に行われました。大会に向けて、日々練習を積み重ねてきたと思いますが、その成果を出すことができただしょうか。大会が近づくにつれ、「絶対に勝つぞ!」という思いが強くなっていったと思いますが、思いだけでは勝つことはできません。毎日きちんと練習するという、「地道な努力」の積み重ねが勝利につながる道だと思っています。

入賞したみなさんおめでとうございます。そして、秋季総合体育大会に向けての皆さんの頑張りを期待しています。

## 表彰

### 〔第70回春季総合体育大会〕

#### 【陸上競技】

- ・ 共通女子 100mH 2位 中西ゆきの
- ・ 共通女子 走り幅跳び 3位 中西ゆきの
- ・ 1年女子 100m 3位 尾崎瑛南

#### 【ソフトテニス男子】

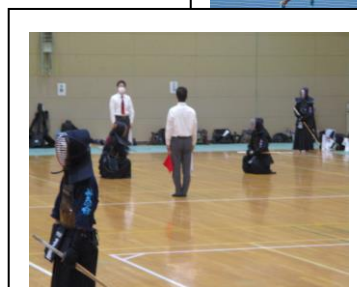
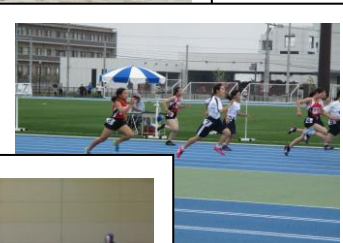
- ・ 団体の部 第2位  
本郷大樹・向井涼哉・木村颯来・古川歩夢  
山口陽生・木本琉星・堤真瑠・柿本政希

#### 【剣道女子】

- ・ 団体Bの部 第1位 江本つかさ・大西 璃子

#### 〔通信陸上出場〕

- ・ 女子200m 竹内 優



**第70回秋季総合体育大会** 陸上8/28(土)、野球7/24(土)25(日)31日(土)、バレー7/26(月)27(火)  
サッカー9/25(土)26(日)、ソフトテニス男子7/31(土)、卓球7/31(土)、剣道7/24(土)

お願い：働き方改革のため、学校への電話は、午前7時45分～午後6時までにご利用します。